

住友重機械工業株式会社との 「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」の契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、住友重機械工業株式会社（代表取締役社長CEO：下村 真司、以下「住友重機械工業」）との間で、「Mizuho 人的資本経営インパクトファイナンス」（※1、以下「本商品」）に関する融資契約を締結しました。

本商品は、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社（取締役社長：吉原 昌利、以下「みずほリサーチ&テクノロジーズ」）が国内外で信頼性の高い人的資本に関する情報開示のガイドライン（IS030414、内閣府人的資本可視化指針等）を参考に、独自に開発した評価手法を用いて、企業の人的資本経営に関する可視化・開示と実践の取り組みをスコアリングし、一定のスコア以上を満たしたお客さまに対し、みずほ銀行が融資を行う商品です。また、みずほリサーチ&テクノロジーズによる定期的なモニタリングとフィードバックを行い、お客さまの人的資本経営の継続的な取り組みを支援していく商品です。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークについては、株式会社日本格付研究所（JCR）から環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合する旨の意見書を取得しています（※2）。

住友重機械工業は、「人材は最大の資本。人と組織の成長・発展こそが事業の持続的成長の源泉」と捉え、人材を経営・事業運営の中核に位置付けています。「中期経営計画2026」のなかでも人的資本をコーポレート戦略における重点課題として設定し、人的資本投資として特に人材育成基盤強化、組織能力強化に重点的・継続的に取り組むことで、「人と組織が互いに成長・発展する環境・風土」への変革を図っています。

みずほ銀行およびみずほリサーチ&テクノロジーズは、住友重機械工業が以下の取り組み等を開示していることを高く評価しています。

・人的資本経営に係る開示事項：

「価値向上の観点」と「リスクマネジメントの観点」から、指標の定義を明確にした上で複数年、幅広く開示していること。特に、従業員の安全・健康・育成を重点課題の1つとして設定し、「人の成長」、「組織の成長」、「人と組織がともに成長するための基盤づくり」の3つの枠組みから、両観点の開示ニーズを意識して説明していること。

・経営者コミットメント領域：

役員報酬の算定をする際に、収益性、成長性、財務規律維持に加え、人的資本経営の領域でもある「安全」や「コンプライアンス」についても役員報酬に反映する仕組みとしていると説明がされていること。

〈みずほ〉は、各企業が中長期的な企業価値向上につながる人的資本経営を実践することが重要と考えています。ブランドスローガンである「ともに挑む。ともに実る。」のもと、本商品の提供を通じ、継続的なエンゲージメント（建設的な対話）を行うことで、お客さまの持続的成長、及び中長期的な企業価値の向上に貢献することを目指すとともに、国内における人的資本経営の取り組みの普及・促進に貢献していきます。

（※1）Mizuho人的資本経営インパクトファイナンス

2023年5月30日付ニュースリリース「Mizuho人的資本経営インパクトファイナンス」の取り扱い開始について

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230530_2release_jp.pdf

（※2）株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上